

～歴史を感じる横浜の山手を散策～

日 時:2014年3月1日(土) 天候:小雨のち曇り 18000歩 約12km

集 合:JR 根岸駅改札前9時45分 10時出発

コース:根岸駅→根岸森林公園→白滝不動尊→三溪園南門入り口→本牧神社→本牧山頂公園→小港→ワシン坂
→神奈川近代文学館→港の見える丘公園→フランス山→みなとみらい線元町・中華街駅(解散)

参加者:大平(L) 仲(SL) A 班班長:小林 B 班班長:大平 C 班班長:熊島 計32名

今日から3月に入りましたが、天気予報通り朝から弱い雨が降り、その上気温も低く芯から冷える陽気となりました。すでに河津桜は咲きはじめていますが、今の時期の主役はやはり「梅」です。今回のコースには、古くから梅の名所として知られた三溪園があり、この寒さの中にも拘らず多くの入園客が梅を見に来ていました。園内では珍しい猿回しの芸も見られ、寒さで固まった顔の筋肉も思わず緩むシーンがあつて楽しめました。またその前に歩いた根岸森林公園にも梅林があり、中でも「枝垂れ藤牡丹」と言う名で枝垂れ桜のような梅が綺麗でした。コースの途中には結構きつい階段や坂もあり、足の弱い方には大変だったようですが、3月の例会も無事終わり、あとは本格的な春の到来を待つばかりとなりました。

〈フォトレポート 小島〉



JR 根岸駅前。時間通り全員集合です。



駅から歩き出すと早速傘の出番となりました。



根岸なつかし公園の旧柳下邸に寄ります。



室内には雛壇飾りが置かれていました。

※旧柳下邸:平成14年11月に横浜市の有形文化財に指定されました。大正～昭和初期の雰囲気があります。



八幡神社には寄らず・・・



その先の急階段を上ります。



こんな坂、KWC にとっては朝飯前？



下から来る人を待ちます。皆優しい！



米軍根岸住宅の横を通過。



こんな注意書きが・・・日本の中の米国。



旧根岸競馬場。まるで巨大遺跡のよう。



これは旧スタンドの跡で、反対側が馬場になります。



ここで佐藤伊さんのストレッチ。寒いので温まります。



リーダー大平さんよりコースの説明。



こうして見ると、何か観光ツアーの団体のようにも・・・



左側が馬場だった雰囲気は僅かに感じられます。



米軍根岸住宅入り口。出入りは厳重です。



冬枯れの根岸森林公園に入ります。



花の競演！

※根岸森林公園：1866年日本初の洋式競馬場として造られた、横浜競馬場が基礎となっている。戦前には現在の天皇賞や皐月賞が行われていた。太平洋戦争で開催を中止、翌年には日本海軍に接收される。敗戦後は他の施設と同様にアメリカ軍により接收された。馬場内はアメリカ軍専用のゴルフ場となっており、現在の芝生はその名残でもある。1969年にスタンドの接收が解除。横浜市による整備の上、1977年10月に根岸森林公園として開放。1982年にはスタンドも返還。現在は一等馬見所が保存され、裏手には竣工当時の写真パネルが展示されている。 (資料より)



梅林をバックに全員集合！ あれ、リーダーは？



後方は「枝垂れ藤牡丹」。まるで桜のように見えます。



花も恥じらう？・・・熟女です！



“平塚組”の二人。



花は「みつまた」です。強い香りが漂います。



天気が良ければ家族連れに最適です。



こうして見ると、何となく元ゴルフ場の感じがします。



ここからは狭い下り坂です。



上は造成中。傾斜地も有効利用でしょうか。



白滝不動尊の急階段。ここを下りてきました。



ここには小さな滝があります。



崖下の住宅街。やや間が開き気味で...



いつ崩れてもよさそうな急斜面。速足で歩きたい？



三溪園にきました。



何やら中国風の建物が...



南門から入ります。



寒い中お疲れさまでした。やっと昼食タイムです。



無料休憩所があり助かりました。KWC 専用？



旧燈明寺三重塔。



出世観音。もう不要！



見晴台から。かつてはすぐ下まで海でした。



ネコがお出迎え？



園内では結婚式でもあったのでしょうか。



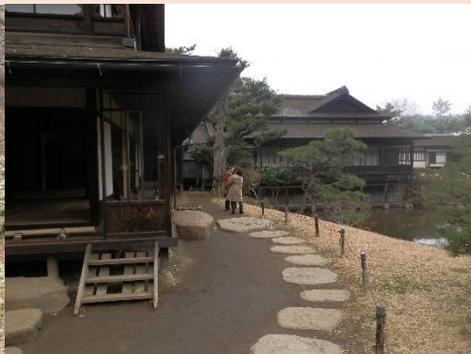
屋根の下で顔が不明！



定番ポイント。池と三重塔。



食後の上りは楽勝？ 各自園内を自由散策です。



狭い園内、時折すれ違います。上る人、下る人。



笹の葉の緑が映えます。白壁とのコントラストが綺麗。



たまたま出会ったメンバー。臨春閣をバックに・・・



臨春閣。手前の芝生が引き立て役です。



御門。京都東山の西方寺にあった薬医門。

※三溪園：明治から大正時代にかけて製紙・生糸貿易で財をなした、横浜の実業家・原三溪（本名 富太郎）が、東京湾に面した“三之谷”と呼ばれる谷あいの地に造り上げた日本庭園。明治39年に一般公開された外苑と、私邸としていた内苑の二つの庭園からなり、京都や鎌倉などから集められた17棟の歴史的建造物と、四季折々の自然とが調和した景観が見どころとなっている。平成19年には国の名勝に指定され、庭園全域も文化財として位置づけられた。（パンフより）



寒いので甘酒が飲みたくなります。



皆建物の中に入ってしまったようです。



これが「緑萼梅」。萼が緑色なのが分かります。遠目では白梅と区別が付きません。



広場では猿回しの芸が始まりました。



可愛いね！ 見ているだけで心が和みます。



さあ出発です。一段と寒さが増してきました。



南門から入り、正門から帰ります。



本牧神社。以前は本牧岬の先端にあったそうです。



熊野速玉社。え、左回り？ 縁を切りたいようです。誰と？



階段を上り本牧山頂公園に向かいます。ここが山頂？



遠くに三溪園の三重塔が見えます。



ワシン坂。



結構きつい坂です。



素敵な雰囲気の家。ただ反対側は崖！



フランス坂を下りて後続を待ちます。



最後も佐藤伊さんのストレッチで締めます。(寒！)

※小雨と北風で芯から冷える一日でした。しかし歩くほどに身体も温まり、寒さも感じられなくなりましたが、これがウォーキングの効果を実感するところです。梅の色と香りで春を感じることが出来ました。根岸森林公園に梅林があったとは知りませんでした。久しぶりに訪れた三溪園は桜の時期と比べ人出も少なく、園内をゆっくりと見て歩くことが出来ました。アフターは22名で元町・中華街駅近くのサイゼリアで。3席に分かれいつもながらの歓談の場となりました。

◎追記:(特に女性の方に)

本格的な春の訪れとともに草花も輝きを増してきます。皆さんもカメラ片手に花を撮る機会が増えると思いますが、そんな時のポイントの一つ。お手持ちのカメラ、使いこなしていますか?・・・意外と知らないのが接写機能です。花や草木の全体を撮るのも綺麗ですが、花にぐっと近づいてアップで撮ってみましょう。こんな時に便利なのがこの機能です。可愛い花びらを接写すると、いつもと違った世界を撮ることが出来ますよ。またお友達と同じ花を撮った時、色が微妙に違って撮れた経験はありませんか。これはメーカー・機種によって発色が異なるからです。真っ赤なチューリップを撮ったつもりがオレンジ色になったり、新緑の若葉が黄色く撮れたり・・・デジタルカメラのこうした弱点も踏まえた上で、気軽にシャッターを押しましょう。

※今月からKWCのHPに[今月一枚・KWC写真館]のコーナーが設けられました。これは皆さんがウォーク中や日頃撮った写真を掲載、少しでも多くの方に写真に親しんでいただくことが目的です。撮影対象は自由ですので是非気軽に投稿してみてください。(担当窓口は小山文さんです。詳しくはHPをご覧ください)